

2023年度 助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2024年4月1日

事業ID:2023006410

事業名:栃木県大田原市における「子ども第三の居場所」(A)学習・生活支援モデルの運営(2年目)

団体名:特定非営利活動法人キャリアアコーチ

代表者名:高木 雄大

TEL:0287-47-5200

事業完了日:2024年3月31日



■契約時

事業費総額	:	10,540,000 円
自己負担額	:	940,000 円
助成金額	:	9,600,000 円

■箇所は【フォーム】収支計算書より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	10,540,000 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	0 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	10,540,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1. 栃木県大田原市における「子ども第三の居場所」(A)学習・生活支援モデルの運営
(1)期間:2023年4月1日～2024年3月31日(週5日、9時から19時まで開所)
(2)場所:栃木県大田原市
(3)対象:家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心に20名
(4)内容:子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完する。



(2)事業完了時の事業内容(実績)

1. 栃木県大田原市における「子ども第三の居場所」(A)学習・生活支援モデルの運営
(1)期間:2023年4月1日～2024年3月31日(週5日、9時から19時まで開所)
(2)場所:栃木県大田原市
(3)対象:家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心に21名
(4)内容:子どもとの1対1の関係を重視しながら、子どもたちの生活習慣形成や学ぶ意欲向上を支援することで社会的相続を補完した。

(3)成功したこととその要因

教育委員会から各学校長へパンフレットの配布があったため学校側の対応が良く理解していただいた。(当団体の担当者が学校のカウンセラーや教育委員会の勤務経験があったため)

(4)失敗したこととその要因

特になし。予定通りに実施し、目標としていた登録児童数も21名となった。

(5)事業内容詳細

寄贈頂いたタブレット端末を使用して、一人ひとりの児童の学習段階に合わせて学習用アプリをインストールしたことで、それぞれの課題や学習の困難度に向き合い、学ぶことが出来た。また、入浴や夕食の提供を通して、食事のマナーや入浴習慣をつけることが出来た。

2. 契約時事業目標の達成状況:

(1) 助成契約書記載の目標

- | |
|--|
| <p>1. 1年後の事業完了時点の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none">・学習・生活支援に関する満足度調査を年度末に実施する。(本人・保護者・担任教諭を対象とする。)満足度調査により「学習・生活支援」事業評価を行う。・子どもの評価は別途評価表を作成し、学習・生活等7項目で評価する。(入所した時点と年度末の時点でのどのような変化があったかを評価する。)・子ども自身は種々の困難を抱えているなかで「学習・生活支援モデル」に参加することにより人間関係が広がり、多様な人生観を持ったひとたちとのかかわりを通して、大きく成長していくと思われる。 <p>2. 達成目標</p> <ul style="list-style-type: none">・人の言うことを聞くようになる。・自主的に学習に向き合える(低学年)・計画的に行動することができる。・学習の理解や意欲が深まった。・コミュニケーションが増え、社会性が高まる。・学習の理解や意欲が高まる(高学年) |
|--|

(2) 目標の達成状況 [700文字以内]

入力文字数	456	文字数チェック	OK
<p>・2024年3月31日までに一日平均利用児童数を10~20名にする目標であったが、他の施設との併用(放課後等デイサービス、フリースクール、学童クラブ等)する児童も多く、定期的な利用状況のため、一日平均利用児童は8名程に留まる。</p> <p>・学習や生活支援に関する満足度調査により事業評価に関しては、現在調査中。直接担任教諭からは「利用以前は宿題を提出しなかったが、利用後は宿題を毎日行ってくるようになったので感謝しています」といった報告があった。</p> <p>・「レオ子どもの居場所」に在籍している児童の半数以上が発達の課題を抱えており、指示が通らないこともあり、到達目標の「人の言うことを聞くようになった」については、今後はオンライン研修(「発達障害のある子どもの支援について」)等に積極的に参加することで児童にとって過ごしやすい環境を十分に提供できるよう改善に努める。</p> <p>・学習に苦手意識を持つ児童については、来所時に自分で時間割を決めて予定表に記入した上で、宿題以外にも別課題の作成など、学習を習慣化できるよう柔軟な対応を行った。</p>			

3.事業実施によって得られた成果

【主な成果】

〈登録児童数〉21名

〈見学／相談数〉80件(児童・保護者・学校関係教職員等)

〈通所児童の状況〉

本人が決めた範囲で、学習支援(タブレット等)や運動プログラム(縄跳び・バトミントン・鬼ごっこ等)を行っている。また学校復帰に向けて、現在学校行事や給食等スポット的に登校出来ている。

〈関係機関との連携〉

学校:入所当初、学校へ保護者から利用していることを連絡後、「レオ子どもの居場所」から学校へ連絡し、月初めに通所した日数、時間、活動内容等をまとめたシートをメールでやり取りをしている。

教育委員会との連携:「レオ子どもの居場所」に通所する児童が初めての学校の場合は、学校と連携の方法を教育委員会へ共通理解として確認し、教育委員会には定期的に在籍児童の状況(人数、所属学校等)を伝えている。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

レオ子どもの居場所では、課題を持つ子ども(困窮世帯や一人親世帯)の小学生を対象にしているが、活動を進めていく中で学校で行っていない不登校児童の保護者からの相談が多く、現在利用者の21名中4~7名が朝9時から来所している。コロナにより不登校児童・生徒が増えているとのことであるが、「レオ子どもの居場所」では困窮世帯は勿論のこと、不登校児童・生徒も受け入れていきたい。

5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

・完了報告書

(2)事業完了時の成果物名称

・完了報告書



(3)未作成となった要因

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

https://nippon.zaidan.info/nf_lib/nf_libServlet/nf_lib1050?np=1019&jigyo_id=0000098598

収支計算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

団体名： 特定非営利活動法人 キャリアコーチ
 事業名： 栃木県大田原市における「子ども第三の居場所」(A) 学習・生活支援モデルの運営(2年目)

(収入の部)

(単位：円)

費目	予算額 (A)	決算額 (B)	受入済額 (C)	未収額 自動計算(A-C)	助成金返還見込額 自動計算(A-B)
①日本財団助成金収入	9,600,000	10,540,000	9,600,000	0	
②自己負担	940,000				
③収入合計	10,540,000	10,540,000	9,600,000	0	

(支出の部)

(単位：円)

費目	日本財団承認済の予 算額 (x)	決算額 (y)	支出済額 (z)	未払額 自動計算(y-z)	補足説明、備考
諸謝金支出	240,000	240,000	240,000		※契約書右下に『協力援助』と記載がある事 ※領収書番号は本フォームの補足説明・備考
旅費、交通費支出	1,320,000	1,320,000	1,320,000		
飲食費支出	720,000	720,000	720,000		
印刷製本費支出	72,000	72,000	72,000		
行事費	600,000	600,000	600,000		
消耗什器備品費支出	216,000	216,000	216,000		
水道光熱費支出	720,000	720,000	720,000		
通信運搬費支出	180,000	180,000	180,000		
振込手数料支出	36,000	36,000	36,000		
人件費支出	6,360,000	6,360,000	6,360,000		
予備費	76,000	76,000	76,000		
支出合計(端数調整前)	10,540,000				
端数調整欄	-				
④支出合計(端数調整後)	10,540,000	10,540,000	10,540,000	0	

※助成金・負担金額の確定は監査終了後、当財団よりご連絡いたします。

※予算額に対し、決算額が下回った場合、助成金の返還が生じます。